



発行:生協関連・一般労組
岡山市奉還町2丁目19-14

(086)-214-1420
(086)-255-7122(FAX)

発行責任者:委員長村上 修一

生協労組おみやま
岡山市藤田564-178
(086)-296-5174
(086)-296-6734(FAX)

Seikyo-Kanren・Ippan-roundoukumiai

新たな発展方向を示した

第7回定期大会開催

2010年度の方針が決まる

9月4日(土)オルガにて定期大会が開催され、議案の第1号議案から5号議案まで満場一致で採択されました。

大会に先立ち、子育て・教育なんでも相談ネットワークの難波一夫先生の学習講演がありました。

成長期(思春期)の子どもたちが親からの一言で、ほっとできた言葉は『どうしたの・だいたいようぶ・いつでも相談に乗るよ』との声かけでした。そして、子どもが本当に言いたいことは、子どもから言ってくる。待つことの大切さを教えられました。

議案提案に対しての発言

大会では、倉敷東部センターの守屋さんと流通サービスマ分会の長尾さんより発言がありました。守屋さんからは、アルバイトの拡大を進めるために、意識調査をして、思いや、要求を掴んで拡大を行うとの発言がされました。

長尾さんからは、労組員がまだ少ない。会社との回交も限界があり、生協が変わらないと委託も変わらないので同年代の正規職員と交流を深めて組織拡大をしていきたい。と決意が語られました。

みんな楽しんだ交流会。また参加します。

大会後の交流会では、用意していた料理が、開始早々30分ぐらいで、参加者の胃袋に吸い込まれていきました。おいしい料理あり、楽しい自己紹介ありで、定期大会そのものより、こちらを楽しみに参加している人も多く、そこかしこで会社や職場の垣根を越えた交流になりました。経済情勢や雇用は、一段と厳しい状況ですが、そんな時代だからこそ、労働者に役立つ労働組合を目指していきたいと思えます。



その後、将来の組織拡大に耐えうる組織の整備と強化の基本方針の決定と新執行部が選出されました。今回の執行委員は、組織の広がりやを反映し流通サービスマのなかまと生協と直接関連しない一般のなかまが加わり、さらなる発展が期待される体制となりました。

